

# 「まつなが通信」

第2号 令和3年1月15日  
発行：燕市教育委員会 学校教育課

～ 松長小学校の今後の在り方に係る検討状況をお知らせします ～

## これまでの検討経過について

松長小学校においては年々、児童数が減少しており、学区の出生数の推移からも、この傾向は今後も継続し、令和5年度には2年生と3年生の学年で複式学級になることが見込まれています。

これまで、同校の今後の在り方については、地域住民や保護者の代表者で構成する「松長小学校の今後の在り方検討会」を設置し、子どもたちにとってより良い教育を進めていくうえで、複式学級による学校の存続か統合かを5回に渡り議論してきました。

なお、第4回検討会において、議論を深めるうえで先進地視察を行うこととなり、10月に複式学級で授業を行っている小学校へ、11月には統合を選択した地域への視察と意見交換を行いました。

また、検討会の他にも、同校の現状や課題などに加え、今後の在り方について、地域・保護者や就学前児童の保護者への説明会も開催しております。



視察先での意見交換の様子

「まつなが通信第2号」では、第5回検討会での協議概要を中心にお知らせいたします。

### 1 取り組みについて

開催日	行事名
令和元年 10月23日	松長小学校の今後の在り方に係る地域懇談会
11月29日	松長地域・保護者説明会
令和2年 1月29日	第1回検討会 [現状と今後のスケジュールについて]
2月20日	保育園・こども園保護者説明会 (三方崎保育園、泉第二保育園、真学園)
2月28日	松長小学校PTA説明会
3月5日	第2回検討会 [複式・統合で懸念される事項の洗い出し]
6月25日	第3回検討会 [第2回検討会で洗い出した事項の協議]
7月30日	第4回検討会 [同上]
10月29日	見附市立田井小学校(過小規模校)へ視察
11月5日	新発田市立菅谷小学校へ視察 [過小規模校の菅谷小学校と七葉小学校を令和3年度に統合予定]
12月22日	第5回検討会 [松長小学校の今後の在り方について]

## 2 各説明会や第4回までの検討会で出された今後の在り方に係る主な意見

複式学級で学校の存続を希望する意見	統合を希望する意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• どのような形であれ、地域に小学校があることが重要。</li> <li>• 松長小学校は、保護者や地域が一体となって学校と連帯しているから、このままで良い。</li> <li>• 少人数の方が、きめ細かな指導ができるのではないかな。</li> <li>• 松長小学校は1年生から6年生まで仲が良いことから、今のままが良い。</li> <li>• 複式をやってみてから、統合を考えてみても良いのではないかな。</li> <li>• 少人数で出来る行事だけで良い。</li> <li>• 他の小学校と連携して行事や大会参加をしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 山間や離島は別だが、近くに小学校があるのだから、複式を選択する必要性は考えられない。</li> <li>• P T Aの役員など、親の負担が今以上に増えることが懸念される。</li> <li>• 複式学級の場合、学力が落ちないか不安。</li> <li>• 中学進学時のギャップに不安がある。</li> <li>• クラスに同性の級友がいなくなる状況が生じる可能性がある。</li> <li>• 複式学級になるのであれば、他の小学校に通わせたいし、統合するのであればできるだけ早く統合してほしい。</li> <li>• バスケットボールなどの団体のスポーツができなくなる恐れがある。</li> </ul>

その他の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人的には、小学校は残してほしいが、存続か統合かの判断は、子どもたちにとって、望ましい教育環境とはどうあるべきかを主に考えるべきと思う。</li> <li>• 地域の意見も大切だが、令和5年度に在籍する児童の保護者の意見を最優先に考えるべきだと思う。</li> </ul>

## 第5回松長小学校の今後の在り方検討会

検討会では、視察を行ってきた見附市立田井小学校と新発田市立菅谷小学校の取り組みを参考に協議を進めるため、委員からの要望により、田井小学校と松長小学校の両校で勤務経験のある方をアドバイザーに迎え、検討会を開催しました。

検討会の協議概要は以下のとおりです。

日時 令和2年12月22日（火）午後6時30分から

会場 松長公民館 大会議室

議題 (1) 報告

・先進地視察について

(2) 協議事項

・松長小学校の今後の在り方について

### 【協議概要】

#### ◆先進地視察の報告について

委員：複式学級の田井小学校は、松長小学校に比べ児童数は少ないが、補助の先生が多く、その先生が児童の自習を見ているので、複式が上手くいっているのではないかと。

アドバイザー：田井小学校は、正規の教員ではない学習指導補助員（教員免許保有者）を多く配置し、複式の授業が円滑に進むよう担任を助けています。

松長小学校は令和5年度から2年生と3年生の複式になるが、この学年は教科も学習時間も違っていることから、複式での授業を上手く進めることは大変難しく、担任にも相当の負担がかかることが考えられます。また、田井小学校は2年生と3年生の複式の組み合わせが無いことで上手くいっていると思います。

委員：見附市は統合しないで過小規模校として、また、新発田市は中学校区単位で過小規模校を統合していくという方針が決まっているが、燕市はどのような方針なのか。

事務局：燕市は、児童の減少で複式学級が見込まれる段階や校舎の老朽化により建替えが必要になった時点で、過小規模校としての学校の存続か、統合かを地域や保護者の皆さんから議論してもらい決定します。

#### ◆松長小学校の今後の在り方について

委員長：地域として、現時点での意見を聞かせてほしい。

委員：私たちが地域の人たちに、複式か統合かを考えてもらう内容を説明することは難しく、また、地域住民の考えを把握する機会もないことから、今後、市から自治会単位での説明会やアンケートの実施をしてもらいたいと思っています。

委員長：学校が存続した場合に、複式学級で学ぶことになる世代の保護者は、どう思っているかを聞かせてほしい。

委員：複式学級でも教育面ではあまり心配していないが、少人数に関して不安があります。学校を残してほしい気持ちと、子どもの環境への不安があり、迷っています。

委員：少人数で慣れた場合、いきなり中学校で大人数の環境に対応できるか。それが原因で学校に行けなくなったらどうしようという不安があります。

委員：学校を残したい気持ちは分かるが、現実、同学年が5人以下になる子どもの親になると話は別で、私たちの不安は複式学級のことではなく、極めて少人数になるということで、この状態が子どものためになるのかが不安です。

委員長：他の委員の考えも聞きたい。

委員：学校が無くなったら、この松長地区の将来はないと思う。地区のためにも学校の存在は大切だと考えます。

委員：自治会の立場として存続となった場合は、全面的に学校のバックアップをしたいと思います。しかし、複式学級で学ぶことになる世代の保護者が、統合を望むのであれば、その意見が大事なので十分考えたいと思います。

## これからの進め方について（予定）

- ① 市教育委員会は、検討会での意見を踏まえ、松長地区として複式か統合かの意見集約を図られるよう、各自治会や就学前の園児及び乳幼児の保護者等への説明会を開催します。  
※ 説明会の時期については、新型コロナウイルス感染症の市内における発生状況を考慮し、自治会等と相談のうえ開催いたします。
- ② 検討会では今後、更に協議を進め、「松長小学校の今後の在り方に係る報告書（仮称）」を市教育委員会へ提出する予定です。
- ③ 市教育委員会は、提出された報告書の内容を踏まえ、「松長小学校の今後の在り方の方針」を決定していきたいと考えています。

### 【皆さまのご意見をお聞かせ下さい】

松長小学校の今後の在り方についての協議の内容を「まつなが通信」として発行し、保護者や地域の皆さまにお知らせいたします。この「まつなが通信」をご覧になり、ご意見等をお聞かせください。

#### 《問い合わせ先》

燕市教育委員会学校教育課 担当：清水  
電話：0256-77-8191  
FAX：0256-77-8188  
Eメール：edu\_gakkou@city.tsubame.lg.jp